

令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況及び評価等について

守谷市立御所ヶ丘小学校

1 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程を編成・実施する学校

守谷市立御所ヶ丘小学校

(2) 特別の教育課程の概要

守谷市保幼小中高一貫教育のスローガン「世界に輝く人づくり」を目指し、急速に進展するグローバル化に対応することができる人材を育成するため、小学校 1 年生～2 年生において、生活科の 35 時間分（1 年生は 34 時間分）を設定する。「英語活動」においては、守谷市独自に配置している外国語指導助手（ALT）との交流の機会を多く設け、体験的な活動をとおして外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重することができるグローバルな視野や態度の素地を育む学習を行う。

(3) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する

必要性

守谷市では、保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」を推進し、就学前の保育所等でも、英語を用いた遊びなどを積極的に取り入れたり、外国人講師との英語での交流機会を設けたりしている。この保幼小中高一貫教育としての継続性から、就学前の学びを小学校入学後においても継続する必要性がある。

また、外国語教育に関する意識調査からも、外国語に係る学習への興味・関心が高い児童の割合が高く（83%）、将来は国際社会で活躍することを希望する児童生徒も多い。保護者からも本市の外国語教育に係る取組に対して高い支持を得ており、特別の教育課程を編成する必要がある。

(4) 特例の適用開始日

平成 23 年 4 月

平成 30 年 4 月 変更

平成 31 年 4 月 変更

令和 2 年 4 月 変更

令和 6 年 4 月 継続

(5) 取組の期間

令和 8 年 3 月 31 日まで

2 特別の教育課程の編成・実施計画に基づく実施状況

- ① 計画通り実施できている
 - ・一部、計画通り実施できていない
 - ・ほとんど計画通り実施できていない

3 特別の教育課程に基づく教育の実施状況に関する自己評価結果

(1) 第1学年児童による評価

- ① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	78.8
楽しい	17.0
あまり楽しくない	4.2
楽しくない	0

- ② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	74.5
楽しい	21.3
あまり楽しくない	4.2
楽しくない	0

- ③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	83.0
話せるようになりたい	14.9
あまり話せるようになりたくない	2.1
話せるようになりたくない	0

- ④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	68.1
知りたい	21.3
あまり知りたくない	4.3
知りたくない	6.4

(2) 第2学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	67.6
楽しい	29.7
あまり楽しくない	2.7
楽しくない	0

② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	78.4
楽しい	21.6
あまり楽しくない	0
楽しくない	0

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	62.2
話せるようになりたい	24.3
あまり話せるようになりたくない	13.5
話せるようになりたくない	0

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	48.6
知りたい	40.5
あまり知りたくない	8.1
知りたくない	2.8

(3) 保護者による評価

① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	69
よい	31
あまりよくない	0
よくない	0

② お子様は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
大変楽しみにしている	1 7
楽しみにしている	7 4
あまり楽しみにしていない	7
楽しみにしていない	2

③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、お子様が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	1 2
増えていると思う	6 6
あまり増えていると思わない	2 1
思わない	1

④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、お子様に力が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。(複数回答可)

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	2 6
(英語を) 聞く力	2 7
(英語を) 話す力	2 3
(英語を) 読む力	4
(英語を) 書く力	5
分からない	3 4

⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。ご意見等があれば、お聞かせください。(自由記述)

- ・外国語と並行して国語の授業も重要視してほしい。
- ・低学年から週に2回あれば望ましいですが、1回しかできないのであれば、内容が簡単すぎるようで、幼稚園に戻ったような内容で、レベルをあげてほしいです。
- ・人前に立って自分の考えを言えるようになってもらいたい。外国の人に話しかけられても物おじせず、積極的に話せるようになるのが理想。
- ・1年生の頃は先生と会う機会もあり、プリントを持って帰って来こともあって、英語の授業について知ることがありましたが、先生が変わってから、どういう授業内容を行っているか全くわからないので評価が出来ません。このようなアンケートを保護者にするのであれば、先生の紹介や授業のカリキュラムなどを報告してからにして欲しいと思います。

(4) 学校関係者（教職員）による評価

- ① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	80
よい	20
あまりよくない	0
よくない	0

- ② 児童は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	100
楽しみにしている	0
あまり楽しみにしていない	0
楽しみにしていない	0

- ③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、児童が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	80
増えていると思う	20
あまり増えていると思わない	0
思わない	0

- ④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、児童が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。（複数回答可）

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	1
（英語を）聞く力	3
（英語を）話す力	3
（英語を）読む力	0
（英語を）書く力	0
力が身に付いていると思わない	0

- ⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。

（自由記述）

ALTは継続して毎回の授業において支援を継続してほしい。

4 実施の成果と今後の課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により目指す学校の教育目標達成の成果

第1、2学年 毎回の授業においてスモールトークを実施

お互いの思いや考えを発信し合うことに重点をおいて、毎回の授業でスモールトークを実施。ジェスチャーや声の大きさなどを工夫してやりとりを数多く行った。

第4学年 中学校区内において小小連携を実施

単元：Unit 8 This is my favorite place.

グリーンバックを使用した合成動画を作成して中学校区の4年生と動画を交換し合った。見てもらう相手設定したことで、相手意識、目的意識が明確になり、児童が主体的に伝え方を工夫し、自発的に繰り返し練習をする環境を作ることが出来た。

第5学年 ドイツマインブルク市との交流授業を実施

単元：Unit 7 Welcome to Japan.

市民協働推進課シルビアさんによるドイツ交流授業を実施。異文化を理解した上で、5年生児童全員がドイツの小学生へ向けて手紙を書いた。事前にドイツの児童一人一人に好きなものを伺い、お互いがより身近に感じられるよう工夫をしたことで、手紙の内容の質が向上した。各地方のおすすめをグループごとにまとめ、CM動画を撮影、ポスターにして、実物を郵送した。

第6学年 台湾 Huajiang Elementary School の6年生とのオンライン交流授業 松前台小学校とのオンライン小小連携を実施

単元：Unit 8 My Future、My Dream.

使用する言語材料が手元にない状態でも、その場で会話が成り立っている児童が多く見られた。事前にどんな英語表現を使用したらいいか、情報を整理しながら考えを形成し、質問し合うことで、英語を通して自身のキャリアに関する思考を深め合えることができた。

英検ESGCSEスコア

平均スコア14ポイント増加。特に「聞くこと」においては10ポイント増加しており、前々年度よりもポイントの増加が見られた。

(2) 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標達成の成果

給食の時間に英語放送を導入

ALT と 5、6 年生の放送委員を中心に、週 1 回の英語放送を実施。ALT が作り出す明るい雰囲気の中で、1、2 年生も楽しく英語に慣れ親しむことができた。3、4 年生は授業で 3 ヒントクイズを作り、実際に児童が作った問題を放送の時間に採用した。高学年放送委員ではない児童にも希望者がでた。

英語ルームの清掃

主に 2 年生の担当児童を中心に、ALT と一緒に清掃活動を行ったことで、自然な英語でのコミュニケーションが生まれた。

ALT と 1 対 1 の会話

5、6 年生のパフォーマンステストにおいて、1 対 1 の会話を年間で実施した。自然なあいづちやリアクションを使い楽しく会話をする児童が多く見られた。

(3) 今後の課題

書くことの指導

アルファベットを正しく丁寧に 4 線に書くことを苦手とする児童が多くみられた。

・全学年を通して、帯活動において「書くこと」の指導に取り組む。

低学年：文字認識（アルファベットの形の塗り絵など）

中学年：ローマ字学習後、小文字、大文字を 4 線に書く練習、ゲームで慣れ親しむ。

高学年：アルファベットの音の認識、単語、文章を書く練習。

英検受験の呼びかけをする

英検を受験した児童の数は 12% と、目標に対してかなり低い数値であった。次年度は授業内で英検に関する関心意欲を高められるように指導をする。

5 授業の様子



第 1 学年 英語活動の様子



第 5 学年ドイツ交流学習の様子